

理学療法かわら版

一般社団法人

山形県理学療法士会

目次	第32回山形県理学療法学術大会を終えて …… 1	ニュース編集部よりお知らせ …… 6
	新役員紹介 …… 4	編集後記 …… 6
	山形県理学療法士会創立50周年における会員表彰 …… 4	



第32回山形県理学療法学術大会を終えて

準備委員長 芦 埜 達 哉

(在宅リハビリ看護ステーションつばさ天童)

6月15日・16日の2日間にわたり、山形ビッグウイングにて第32回山形県理学療法学術大会を開催することができました。一般参加を含め370名の方にお越しいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

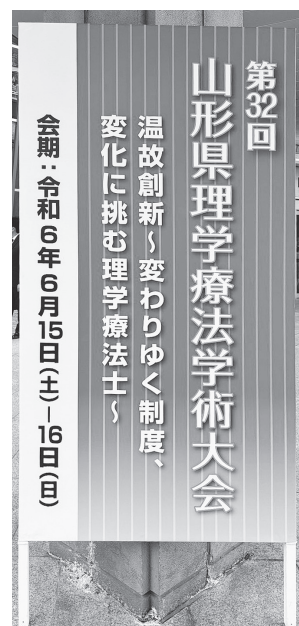
開会式には数年ぶりに来賓をお招きし、山形県高齢者支援課課長の板垣様、山形市長寿推進部部長の松浦様より挨拶を頂戴しました。県内における理学療法士の貢献度や求められていること、地域を共に盛り上げていく仲間としてのメッセージを壇上で受け取り、非常に緊張感のあるスタートとなったのを覚えています。また、山形県作業療法士会の阿部副会長、山形県言語聴覚士会の荒井会長からもお祝いの言葉で華を添えていただき、コロナ禍前と同様の雰囲気で行うことができました。

特別講演においては、「2040年に向けた社会情勢の変化に対する理学療法士の役割」と称して、日本理学療法士協会の佐々木副会長より、協会の3つの挑戦に焦点を当ててご講演いただきました。具体的には、①理学療法士が活躍できる領域の拡大および職能に資する学習環境の強化 ②地域社会における健康増進活動への積極的な参加と多職種連携による包括的なサポート体制の構築 ③将来にわたり持続可能な医療システム

への貢献について述べられ、我々の向かうべき道筋を示してくださいました。

シンポジウムにおいては、医療・介護・福祉のそれぞれの領域より、今回のトリプル改定の変遷や現場における課題に関して紹介いただきました。どの領域でも共通していることは、より専門的かつ総合的に質の高い介入が求められるということです。さらには、対象者はいち患者・利用者にとどまらず、施設・事業所や自治体に向けても適切な関わりを提供することが求められています。現場を取り巻く制度や周囲との関係性はこれからも変化することが予想されますが、背景について理解を深め、プラスに転換できるよう実践していくことがますます必要だと強く感じました。

市民公開講座においては、山形県立保健医療大学の上月学長より「慢性腎不全のリハビリテーション：世界をリードする腎臓リハ



ビリテーション」というタイトルでご講演いただきました。生理学やガイドラインに沿いながら、運動の重要性やアドヒアランス向上に向けた工夫についてアップデートすることができたと思います。聴講された当事者の方からの質問も飛び交い、どのような視点で症状や治療を捉えているかを知る貴重な機会となったのではないのでしょうか。

演題発表においては、症例報告を筆頭に地域での取り組みや災害に対する活動報告など多様化がみられ、本当にたくさんの方々に盛り上げていただきました。上記の企画を含めて全体を通して振り返ってみても、経験に問わず知見を深める有意義な大会であったと感じています。

準備においては何かと後手になることが多く、準備委員のリーダーや運営スタッフの皆様には大変ご負担をお掛けしました。当日は皆様のご尽力・創意工夫を凝らした対応のお陰でなんとか閉会を迎えられたこ

と、改めて感謝いたします。今回のテーマに掲げられた「温故創新」は温故知新から生まれた造語です。論語には可以为師矣（以って師となるべし）という続きもありますが、学術大会や県士会事業をよりよいものに創り上げていくには、皆様のお力添えが欠かせません。第33回以降も盛会となることを祈念して、総括とさせていただきます。



オーリンク株式会社

山形市北町三丁目8番20号
電話 (023) 681-3633 (代)

Your Healthy and Active Life With
YAMAGATA PROSTHESES INSTITUTE
あなたの健康で快適な人生の為に、山形義肢研究所がすること

有限会社 山形義肢研究所

ACCESS 山形市飯田五丁目5番39号
TEL 023-632-5214 FAX 023-632-5215



あなたの笑顔が見たいから 株式会社 蔵王サプライズ

●リネンサプライズ・ホスピタルリネン事業部 ●ホームヘルスケア事業部 ●リースキン事業部

ホームヘルスケア事業部 山形市銅町二丁目21番4号 TEL (023) 674-9600
支店・営業所 仙台支店/新庄営業所/庄内営業所

生命科学・医療福祉分野を総合的にサポートする



株式会社 シバタインテック

■山形支店 〒990-2323 山形県山形市桜田東二丁目1番21号
TEL:023-642-8153 / FAX:023-623-5853

本社(仙台)・荘内営業所・鶴岡営業所・郡山営業所・ロジスティックセンター・メンテナンスセンター

思いやりリハビリ・まごころケア

(有) 福祉用品やまがた

介護用品ショールーム

〒998-0842 山形県酒田市亀ヶ崎4-2-40
電話 (0234) 26-1725
FAX (0234) 26-6780



義肢・装具・車いす
他 整形医療器具製造・販売

(有) エムサポート

〒990-2212 山形市上柳110
TEL(023)687-2800 FAX(023)687-2812
取引銀行 山形銀行宮町支店(普通)0241881

福祉用具開発・レンタル販売 <http://www.tamatsu.jp>



本社 山形県鶴岡市美咲町32-7(〒997-0857)
TEL 0235-23-6333/FAX 0235-25-3889



◆山形県厚生省労働省指定◆ (有) 渡部義肢

◆営業品目◆

義足・義手、コルセット、車椅子、ステッキ、下肢装具、上肢装具、骨格義足(モジュラー)

〒997-0861 山形県鶴岡市桜新町8番地52号
TEL(0235)25-9366 FAX(0235)25-9364

Topics：学術大会実行委員の声

- ・初めて学会の運営を担当しました。事前のテンプレートの作成や当日のレイアウトづくりに苦労しましたが、たくさんの方の協力のことで会が成り立っていることを感じ、とても勉強になりました。また、これまで関わりの少なかった近隣施設のスタッフとの交流もあり、今後の連携のきっかけとなりそうです。ありがとうございました。
- ・二次元コードでの参加受付・ポイント付与申請はとても楽に感じられました。これからの受付方法のスタンダードになるかと思いますが、スタッフへの説明や理解に時間を要しました。他の研修会等でも触れる機会が増えてきておりますので、少しずつ慣れていきたいです。
- ・普段は参加する側ばかりだったが、主催する側になり、運営の仕組みや大変さがとても勉強になりました。業務終了後の準備は楽ではありませんでしたが、新しいコミュニティができたことは自分にとってプラスになったと感じます。また、普段なかなか会うことのできない協会副会長や行政の方と近い距離で話すことができ、貴重な経験となりました。
- ・当日を迎えるまでどれくらい会場が埋まるか心配でしたが、大きなトラブルなく、無事に終えることができて良かったです。大会長・準備委員長はじめ理事にも関わらず企画・準備・運営にご尽力下さった皆様、誠にありがとうございました。各リーダーの皆様におかれましては、当日のお気遣いに深く感謝申し上げます。長期間に渡る準備、本当にお疲れ様でした。
- ・今回は例年に比べて短期間での準備となり、細かいミスに気付かなかったことや情報の共有が不十分であったことは否めない。一方で、状況に応じて現場で臨機応変に対処できた場面もあり、リーダーおよびスタッフの協力のお陰で無事に閉会を迎えられました。
- ・発表も含めて“自分たちで創るもの”という認識で今後も開催・運営できるようサポートしていきたいです。第33回以降の県学会がよりスムーズに運営されること、誰が準備委員となっても安心して進められることを目標にマニュアルを整えていきたいです。

実行委員会メンバーより（振り返りより一部抜粋）

第32回山形県理学療法学術大会実行委員の皆様ありがとうございました

第33回山形県理学療法学術大会は置賜開催！

会員の皆様のご協力とご参加よろしくお願いします！！



医療機器・福祉用具販売レンタル
TOTAL MEDICAL COMMUNICATION

株式会社 トーク

日医器連通正事業所 第9406017号
福祉用具貸与事業所 0670700434
E-mail: somu@took.co.jp

〒997-0806
山形県鶴岡市遠賀原字稲荷41-2
TEL (0235) 22-1009 FAX (0235) 25-8139

医学書のことならお任せください



日本医書出版協会認定医学書専門店
医学書、看護学書、医書一般

株式会社 高陽堂書店

山形市大野目3-1-17 TEL 023(631)6001 FAX 023(632)1168
<http://www.koyodo.com/> email info@koyodo.com

新役員紹介



副会長 大 森 允 (山形大学医学部附属病院)

この度、副会長を拝命しました大森允です。このような重責を担うことになり身の引き締まる思いでございます。私は理事として学術誌部、専門領域推進部、学術大会部をそれぞれ歴任させていただきました。また、本年6月に第32回山形県理学療法学術大会の大会長を経験させていただきました。ご参加いただきました会員の皆様、ご尽力いただきました準備委員会の皆様に改めて感謝申し上げます。

さて、本会は、県内に勤務する会員の学術技能の研鑽と資質向上に努めるとともに県民保健の発展に寄与することを目的とし活動しております。近年、理学療法士の役割や専門性は多様化し、活動の場は医療や介護、福祉だけでなく、予防、健康増進、産業など様々な分野に広がりを見せています。こうした社会情勢の変化の中、私たち山形県理学療法士会も時代に応じた組織づくりを、スピード感をもって進めていく必要があると感じております。社会の変化に対応するために会員一人ひとりが生涯学習を継続し、その専門性を自身の臨床現場をはじめ地域・社会活動に活かせるような支援や体制づくりに取り組んで参りますので、今後とも本会へのご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。



専門領域推進部担当理事 海老名 陽 介 (公立置賜長井病院)

今年度より理事となりました、公立置賜長井病院の海老名陽介と申します。この度、専門領域推進部を担当させていただくことになりましたのでよろしくお願いいたします。

専門領域推進部においては、各領域の勉強会や研修会では、会員の皆様のスキルアップや登録理学療法士及び認定理学療法士の取得・更新につながるような企画を検討していきたいと思っています。会員の皆様が興味を持ち、活発な活動ができるようにしたいと思っていますので、ご意見や一緒に活動していただける会員の方がいらっしゃればご協力よろしくお願い致します。最後に、現在はオンラインでの開催が多くなっておりますが、今後は対面での開催も含めて検討していきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

山形県理学療法士会創立50周年における会員表彰

功労賞を受賞して

今 野 珠 美 (東根市役所)



この度は、山形県理学療法士会功労賞をいただきありがとうございました。これもこれまでご指導いただいた先輩方や理解を示し協力してくれた職場の同僚や後輩、そして会の事業を一緒に企画運営してくれた各部局の部員の方々の支援があつてのことだと感謝申し上げます。

2011年から8年間理事を務めさせていただきましたが、私にとってはとても学ぶことが多い貴重な時間でした。それまでは、病院の中のリハ部門という世界で院内での立ち位置や一人の理学療法士として知識を深め技術を高めることしか考えておらず、本当に「井の中の蛙」で満足していたような気がします。理事会でいろんな話を聞き討議していくうちに、職業団体として社会により認めもらうためにはどうしていかなければな

らないのか、広い視野をもって考えること、将来を見据えて行動すること、理学療法士という身分を高め職域を広げ、これからの若い理学療法士が働きやすい環境を作っていくことの大切さ等、とても刺激になり考えさせられました。

その中でも印象に残っているのは、地域包括ケアシステム構築が叫ばれ、県主導の地域ケア会議が始まったことです。当たり前のことですが、地域で生活する方を支援するためには、専門分野だけ押し付けてもうまくはいかず、多方面からの情報や多職種の方々と協働での働きかけが大事です。会議や研修を通し、多くの他職種の方々と繋がることができ、より視野を広げることになりました。また、部局の活動においてもいろんな年代のいろんな領域の皆さんと仕事をするにより人脈が増えていきました。これらの経験が私の大きな財産となりました。

2023年より監事の職で舞い戻ってきました。コロナ禍の影響によって、私たちの働き方や考え方も大きく変わりました。時代に適応しながら新しいことを模索し、古き良きところは継承し、当会の発展のためにもう少し皆さんと一緒に頑張っていこうと思います。よろしくお願いいたします。



功労賞を受賞して

遠 藤 武 秀（済生会山形済生病院）



自分が理学療法士として仕事を始めたのが昭和63年の4月で、それ以来36年間、現在の職場の済生会山形済生病院に務めております。同時期に山形県理学療法士会にもお世話になってきたわけですが、様々な思い出があります。

若い時は士会主催の研修会で著名な先生方の手技を目の当たりにして、色々な分野に興味を持ちましたが長続きせず、結局これが自分の専門という分野がなく、管理という分野に身を置く現状があります。毎年研修会や学会に参加させていただきましたが、懇親会とその後の麻雀が楽しみで行かせていただいております。

理事の活動においては、長年学会部や学術誌部、生涯学習部も務めさせていただきました。学会を学術大会に変更させていただいたり、新人賞を始めさせていただいたり、山形県理学療法士会会誌を山形理学療法学に変更して、医学中央雑誌やメディカルオンラインに登録したり、大変な作業ではありましたが、その時々でいかに先を見据えてどう変えていくかを考えながら、作業の大変さよりは達成感の方が大きかったように思います。その達成感があったからこそ何とか成長することができたのではと感じております。そして今も変わらない現状に、少しのうれしさと今後の状況を心配する部分とどちらも感じてしまう自分がおります。

当会の理事を務めた後は、東北ブロック協議会で学会評議員と学術局員を務め、その後機関紙編集部長や学術局局長も経験させていただきました。特に第38回東北理学療法学術大会では大会長を拝命することができ、県士会活動から東北ブロック協議会での経験において、皆様のご支援とご協力の中、この度の功労賞をいただくことができました。どうもありがとうございました。

令和4年度より登録理学療法士制度が開始され、新人教育や生涯教育において、協会や士会が大きく変わる節目となりました。新型コロナにどう対応するか、とても重要な課題でありましたが、新しいシステムや感染症にどう対応するか、どう施設の仕組みを変えていくか、施設の代表として頭を悩ませているところであります。

いつの時代でも同様で、新しいものにいかに対応しどう未来を切り開くか、診療報酬改定への対応も毎回大変ですが、そこができないと生き残れません。定年まであと1年半ですが、今の厳しい時代を何とか乗り越えるために、もう一踏ん張りしたいと考えています。

今後益々山形県理学療法士会が発展されることを祈念し、受賞のコメントとさせていただきます。

ニュース編集部よりお知らせ

【公式LINEアカウント登録のお願い】

ニュース編集部では昨年より会員の情報収取の利便性向上を目的に公式LINEアカウントを立ち上げました。現在はTodayを中心とした発信を行っていますが、登録会員数がまだ少ない状況です。登録のご協力をお願いいたします。

■友だち登録方法

スマートフォンにて無料通話・無料メールスマートフォンアプリ「LINE（ライン）」をダウンロード後、アプリ内の「ホーム」タブ画面の右上、人型アイコンをタップ後、下記の方法にて友だち登録を行ってください。

①二次元コードリーダーで友だちに追加

- 1) 「二次元コード」をタップし、右の二次元コードを読み取ってください。
- 2) 「追加」ボタンをクリックすることで登録完了です。



②検索で友だちに追加

- 1) 「ID検索」を選択し「@443cckok」と入力し検索してください。
- 2) 「追加」ボタンをクリックすることで登録完了です。

■山形県理学療法士会 LINE公式アカウント

LINE ID：@443cckok アカウント表示名：山形県理学療法士会

編集後記

この度、かわら版35号を発行いたしました。本号では、第32回山形県理学療法学会準備委員長の芦埜先生よりご挨拶をいただきました。さらに、本号では学会大会実行委員のメンバーからの感想も掲載しました。実行委員にしかわからない達成感や問題点などを本号で共有し、次回学会大会へ向け会員全体で協力しながら盛り上げていければと思います。

また、新役員紹介として副会長の大森先生と専門領域推進部の海老名先生よりあいさつを頂きました。加えて、山形県理学療法士協会創立50周年における会員功労賞を受賞された今野先生及び遠藤先生のあいさつを掲載しました。本誌を通して支部の活動にも興味を持っていただければ幸いです。

今後も広報部一同、会員の皆様に有益な情報をお届けできるよう精進してまいります。

本号に寄稿して下さった先生方、誠にありがとうございました。

広報部 山形県立中央病院 黒沼 大紀

オーダーメイドの福祉用具
LCS 株式会社 ライフケアサポート
山形県東根市温泉町1-13-10
TEL0237(43)6833 FAX0237(43)6832

医療の未来を見つめる総合商社
岡崎医療株式会社
■本社 山形市あこや町三丁目4番3号
■山形営業所 〒990-0025 ☎023-623-0546
■鶴岡営業所 鶴岡市大字安丹字村上4番10号
〒997-0057 ☎0235-22-0106

Okaze
OKAZE CORPORATION
株式会社大風印刷 〒990-2338 山形県山形市蔵王松ヶ丘1-2-6 TEL.023-689-1111
●天童営業所 ☎023-654-5715 ●東根営業所 ☎0237-53-0117 ●仙台営業所 ☎022-399-7861
●東京営業所 ☎03-5829-6650 ●立谷川事業所 ☎023-686-5105

■発行／一般社団法人 山形県理学療法士会
■発行者／岩井 章洋
■編集者／守 一彦 黒沼 大紀 金子絵梨花
■広報部／E-mail：yamagataptkouhoubu@gmail.com